シティプロモーション・スポーツ調査特別委員会　案件一覧

（令和８年 10 月 19 日開催分）

○所管事務報告　４件

部局	報告順	件　　名	資料番号	説明者（所管課長名等）
企画経営部	1	大田区シティプロモーション推進事業の進捗（令和８年９月）等について	6	阿部　広聴広報課長
	2	「大森わくわくフェア」の開催について	7	
産業経済部	3	大田観光協会事業　第１回東京・大田の“新名物”プロジェクトの進捗について	11	原田　産業経済部副参事（産業プロモーション担当）
	4	大田観光協会事業　ふぇすてぃば湯の実施について	12	

シティプロモーション・スポーツ調査特別委員会
令和８年 10 月 19 日
企画経営部　資料６番
所　管　広聴広報課

大田区シティプロモーション推進事業の進捗（令和８年９月）等について

1　大田区シティプロモーション戦略アクションプランに基づく取組

施策		取組実績
施策１	「大田区の暮らし」の価値を高めるブランディング	＜区内イベントの集約・発信＞ ・シティプロモーションサイトによる情報発信　６件 （グルメ、おでかけ・文化・ハロウィンイベントなど）
施策２	「大田区の暮らし」の価値の発信	＜暮らしの価値の発信・ブランドメッセージ・ロゴマークの浸透＞ ・各種シティプロモーション SNS による情報発信 X：10 件 インスタグラム：３件 フェイスブック：３件 （七夕、涼みどころ、羽田イベント、平和のつどい、水辺の楽校、区内のお店など） ・LINE 配信による情報発信　３件 ・ブランドロゴマークを使用した動画制作及び配信
施策３	庁内推進体制の強化	＜庁内シティプロモーションマインドの醸成＞ ・広報アドバイザーの活用
施策４	区民、区内事業者・関係団体等との連携等	＜区内事業者との連携による発信＞ ・シティプロモーションサイトによる情報発信　３件 （区民が主体の地域イベントなど） ・区内ケーブルテレビ広告 ・東急車内ビジョン広告

2　参考情報

（１） サイトビュー数（月末時点）「ユニークおおた」の閲覧状況

	10月	11月	12月	１月	２月	３月	４月	５月	６月	７月	８月	９月
総ビュー数	43,884	46,327	80,409	55,367	56,584	97,627	42,500	51,984	38,195	63,836	52,321	36,838

（２） ＳＮＳのフォロワー数（月末時点）※（　）内の数字は前月からの増減数

月 / SNSアカウント名	10月	11月	12月	１月	２月	３月	４月	５月	６月	７月	８月	９月
X（旧Twitter）	3,207 (52)	3,530 (323)	3,600 (70)	3,616 (16)	3,671 (55)	3,706 (35)	3,737 (31)	3,754 (17)	3,767 (13)	3,775 (８)	3,781 (６)	3,789 (８)
Instagram	1,696 (17)	1,839 (143)	1,849 (10)	1,863 (14)	1,893 (30)	1,913 (20)	1,935 (22)	1,966 (31)	1,992 (26)	2,015 (23)	2,028 (13)	2,039 (11)
Facebook	888 (16)	903 (15)	911 (８)	914 (3)	928 (14)	936 (8)	950 (14)	961 (11)	964 (3)	970 (６)	975 (５)	975 (０)
公式LINE	40,540 (737)	43,109 (2,569)	45,757 (2,648)	48,255 (2,498)	50,842 (2,587)	96,221 (45,379)	105,384 (9,163)	115,113 (9,729)	126,198 (11,085)	127,182 (984)	128,139 (957)	129,726 (1,587)

主な取組

区内イベントの集約・発信　施策１

文化、おでかけ、地域交流、季節イベントなど、区内で開催される多彩なイベント情報を集約し、シティプロモーションサイトやSNSで発信することで、参加促進と地域の魅力発信を図った。





暮らしの価値の発信・ブランドメッセージ・ロゴマークの浸透　施策２

区内の身近な魅力や充実した子育て環境など「食・自然・子育て環境」の多様な価値を、シティプロモーションSNSや記事・動画等を制作し、区で住み続ける魅力の発信を図った。また、５つの暮らしの価値及びブランドメッセージ・ロゴマークの啓発を目的とするポスターを制作し、今後、様々なタッチポイントで活用していく。









庁内シティプロモーションマインドの醸成　施策３

Xの主要指標である表示回数は8,084、平均エンゲージメント率が5.37%となった。各部局が作成するパンフレット等のデザイン支援を行うため、広報アドバイザーとして外部人材を採用した。分かりやすく効果的な情報発信の体制強化を図っていく。





区民、区内事業者・関係団体等との連携による発信　施策２　施策４

○イトーヨーカドー大森店との連携

防災用品の展示・体験機会を提供。災害への備えを身近に感じてもらうことで、安全・安心に暮らせるまちの魅力を発信

○東邦大学・さわやか信用金庫との連携

各団体が実施するイベントでシティプロモーションブースを設置予定。「５つの暮らし」の魅力や「わくわくに翼を」ロゴ・ブランドメッセージの啓発につなげるポスターを掲示する。また、東邦大学のイベント（10月10日）では、参加者や学生から区で感じる「わくわく」を集める取組みを実施。







3　「#uniqueota フォトキャンペーン2026」の実施について

大田区で撮影した大田区ならではの５つの暮らしの魅力、お気に入りスポット等の写真をXに投稿してもらうフォトキャンペーンを実施する。

（１）　実施期間

令和８年11月２日（月）～12月６日（日）

（２）　テーマ

「大田区制80周年　写真で“共感”するおおたのわくわく」

（３）　景品（予定）

抽選で10名へショッピングサイトで利用可能なギフトカード



ｼﾃｨﾌﾟﾛﾓｰｼｮﾝ･ｽﾎﾟｰﾂ調査特別委員会 令和８年 10 月 19 日
企画経営部　資料７番
所　管　広聴広報課

「大森わくわくフェア」の開催について

１　事業目的・趣旨

区制 80 周年、東御市友好都市締結 30 周年、大森駅開業 150 年を迎えるメモリアルイヤーであるこの機会に、区が地域や友好都市と紡いできた「歴史」を次世代につなぎ、注目度の高い大森エリアの魅力を内外に発信することを目的とする。

また、同期間に実施するイベントと連携することで、大森エリアの回遊とシティプロモーションの最大化の相乗効果を狙う。

会場・エリア	11/28（土）	11/29（日）
大森駅コンコース	150 周年、東御市関連のパネル展示	150 周年、東御市関連のパネル展示
大森駅東口駅前広場	東御市、地域、産業振興協会等による出展（特産品等の物販）	東御市、地域、産業振興協会等による出展（特産品等の物販）
大田文化の森	文士村特別展示（旧喫茶スペース）	文士村特別展示（旧喫茶スペース） 野菜と花の品評会・農業感謝まつり
スマイル大森	朝ドラトークイベント～まち歩きイベント	―
周辺文化施設	入館無料、ノベルティ配付、郷土博物館特集展示開催中	入館無料、ノベルティ配付、郷土博物館特集展示開催中
その他	―	タウントレック開催

２　事業概要

（１）日時

令和８年 11 月 28 日（土）～29 日（日）、午前 10 時から午後４時まで

（２）会場

大森駅東口駅前広場

（３）主な実施内容

ア　東御市、休養村とうぶの物産販売

イ　地域、大森本場乾海苔問屋協同組合のイベント

ウ　おおたイチ推しマルシェ

エ　おおむすび縁市場

オ　こども向けワークショップ（塗り絵、缶バッチづくり、参加者にノベルティ配布等）

（４）主催

大田区

３　主な広報周知（予定）

（１）チラシを区内各施設に配布

（２）区ホームページや SNS で発信

（３）大田産業振興協会公式ホームページ及び SNS で発信

シティプロモーション・スポーツ調査特別委員会 令和８年 10 月 19 日
産業経済部　資料 11 番
所　管　産業経済課

大田観光協会事業 第１回東京・大田の“新名物”プロジェクトの進捗について

１　事業目的

本事業は観光まちづくりの視点から、地域の事業者や団体と連携して地域資源の魅力や地元愛を形にし、大田区の新たな名物づくりと魅力発信を共に進めていくことで、地域経済の活性化、観光コンテンツの充実、地域との共創を目指す。

２　進捗状況

（１）応募期間　令和８年７月１日（水）から８月２日（日）まで

（２）応募数　　22 件（商品 18、メニュー４）

（３）採択数　　14 件（商品 12、メニュー２）

【第１期】

商品・メニュー名	事業者	テーマ
おおた歴史めぐり御膳（弁当）	株式会社ときわ給食センター	OMAISEN
馬込文士菓子～フィナンシェ･ほうじ茶黒糖～	菓子屋 Present	OMAISEN
CHIYO（クラフトビール）	東京八景株式会社	OMAISEN
平和島メンチ（惣菜）	Belle Couleur	OMAISEN
『大田文学』第２号（特集 「当地の宇野千代大研究」）	大田文学	OMAISEN
ノリノリ！海苔カレー(レトルトカレー)	大森学園高等学校	OMAISEN
馬込文士村カクテル	deli food cooking Sachiko	OMAISEN
大森パウンド（2020 年）	パウンドケーキ専門店カトルカール（有限会社アクティブ・ケイ）	OMAISEN
銭湯カレー	羽田ビアキッチン&カフェ(株式会社大鵬)	お風呂（銭湯・黒湯）
黒湯皿ワンタン	ひでぼう	お風呂（銭湯・黒湯）
ネジ屋のクッキー	株式会社公進	ものづくり

【第２期】

商品・メニュー名	事業者	テーマ
洗足池あん塩パン	Boulangerie Towaie	OMAISEN
まっちゃねこと大田区観光（雑貨）	まっちゃねこのおみせ	OMAISEN
「Message from OTA」シリーズ（レースペーパーカード）	SUZUMOMO	OMAISEN

※商品･メニュー名については採択時のものであり､今後事業者等と協議のうえ､名称を変更する可能性があります。

OMAISEN は、大森、馬込、池上、洗足池の地域に根指した文化や歴史資源を観光資源と捉えています。

【第１期】商品の一部



CHIYO



馬込文士菓子



大田文学

（４）商品・メニューの提供開始時期（予定）

事業者等と商品・メニューについて、“新名物”として商品の魅力づくりを行い、第１期は 10 月から、第２期は 12 月から順次、提供を開始する。

（５）大田観光協会の支援について

ア　イベントでの出品

OTA ふれあいフェスタ、TOKYO 周穫祭など区内外のイベント時に、大田観光協会のブースで出品

イ　大田観光協会広報媒体での発信

観光情報誌「あそびつくせ！大田区」16 号及び 17 号に掲載するとともに、大田観光協会公式ホームページ及び大田観光協会ＳＮＳで発信

ウ　専門のカメラマンによる商品の撮影

大田観光協会公式ホームページや採択事業者の広報で使用

エ　ロゴマークの制作・利用

大田観光協会では本プロジェクトのロゴマークを新たに作成し、採択された事業者等に“新名物”提供の際に活用いただくことで地域と一緒に盛り上げを行う。

シティプロモーション・スポーツ調査特別委員会 令和８年 10 月 19 日
産業経済部　資料 12 番
所　管　産業経済課

大田観光協会事業 ふぇすてぃば湯の実施について

１　事業目的

区内の銭湯・温泉をＰＲする展示、物販、体験ができるイベント「ふぇすてぃば湯」を初開催し、区内外に向けて都内最多を誇る銭湯・温泉のまちおおたの魅力発信により、さらなる認知度の向上及び区内への来訪促進を図る。

２　実施概要

（１）日時

令和８年 12 月６日(日)、午前 10 時から午後５時まで

（２）実施場所

東急プラザ蒲田７階及び屋上かまたえん（雨天時は内容を縮小して７階で開催）

（３）内容

ア　展示・クイズ

銭湯レトログッズの展示、大田区銭湯マップの配架、大田の銭湯クイズ、温泉当てクイズなど

イ　物販（予定）

（ア）銭湯にちなんだはねぴょんの新グッズ他

（イ）“新名物”プロジェクト「銭湯カレー」

（ウ）「銭湯ビール」、「黒湯ビール」、「瓶牛乳」

（エ）鳴子温泉、西郷村のお土産品

ウ　その他

（ア）黒湯にちなんだ体験等を予定

（イ）クイズや体験をした方を対象に、銭湯・温泉グッズ等が当たる抽選に参加可能

３　広報

（１）大田区報

（２）大田観光協会公式ホームページ及び大田観光協会ＳＮＳ

（３）銭湯サポーターフォーラムをはじめとした大田観光協会出展イベントでのＰＲ

（４）観光経済新聞への掲載（予定）

（５）区内在住のインフルエンサーと連携した発信（予定）